

建築鉄骨ロボット溶接オペレータ技術検定試験受験申込書

＜ 新 規（基本級・専門級）・ 追 試（学科・口述）＞

（上記（ ）内の該当するものを○で囲んで下さい。）

- （注1）受験者本人が内容を確認し、押印（＊1の箇所）して下さい。
（注2）申請内容に従って評価します。申請内容が事実と相違していた場合は、口述試験の取り止め又は不合格とする場合があります。

写真貼付
脱帽、上半身で
最近6ヶ月以内
に撮影したもの
タテ 3.5cm
ヨコ 3.0cm
（全面のり付）

西暦 年 月 日											
一般社団法人 日本溶接協会 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ評価委員会 殿											
フリガナ								管理番号			
受 験 者 氏 名		(姓)				(名)				印 ＊1	
生年月日		西暦 年 月 日 生									
フリガナ						所属部課					
勤務先名						所属部課					
同 上 所 在 地		〒				-				Tel. /Fax.	(Tel) (Fax)
連 絡 先		氏 名					所属部課				
希望する試験 日のコードNo. を○で囲んで ください。		コード No.	試験日						試験会場		
		GK172	2025 年 11 月 15 日（土）						北海道		
		GK173	2025 年 11 月 29 日（土）						東京		
		GK174	2025 年 11 月 30 日（日）						東京		
		GK175	2025 年 12 月 06 日（土）						大阪		
申請する種別 記 号の番号を○で 囲んで下さい。 （ ）内はロボッ ト型式認証記号 の下7桁を記入 して下さい。〔型 式認証書（附属 書含む）のコピー を添付下さい。〕		基本級	01. PP-FS（ ）				02. PP-FF（ ）				
			03. SD-FN（ ）				04. CD-FN（ ）				
		専門級	05. PP-HS（ ）				06. PP-HF（ ）				
			07. PP-VS（ ）				08. PP-VF（ ）				
			09. SS-HA（ ）				10. CC-HN（ ）				
		11. HH-HS（ ）				12. HH-HF（ ）					
		13. BB-HC（ ）				14. BB-HN（ ）					
ロボットメーカー						ロボット機種					
						電源の種類 （○をつける）		C V 電源, パルス電源			
現 有 の 資 格 JIS Z 3841 基本級・専門級		種類記号（適格性証明書のコピーを添付下さい）									
		基本級									
		専門級									
建築鉄骨ロボット溶接オペレータ特別教育（右記に日付を記入） 又は、ロボット操作日数 100 日以上（別紙、経歴の注記5）						特別教育の 受講年月日		西暦 年 月 日			

受験者の職務経歴証明書（新規、追試）

1. 建築鉄骨の溶接従事の確認

受験者氏名	印 *1	生年月日	西暦	年	月	日
申請時以前の建築鉄骨の溶接経験期間 *2		西暦	年	月	～	年 月
上記期間中に経験した主な溶接業務 (記入例：半自動溶接など)						

2. 建築鉄骨ロボット溶接の経歴（申請する機種について記入する）

産業用ロボット安全衛生特別教育 *3 の受講日	西暦	年	月	日
-------------------------	----	---	---	---

ロボットメーカー			ロボット機種		
期 間 (産業用ロボット特別 教育修了後から記入)	種別記号 (継手区分・姿勢 ・タブの種類)	対象工事名称	柱梁接合部形式*4 柱断面 *4	ロボット操作 日数(訓練・ 補助を含む)	
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通		
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○		
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通		
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○		
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通		
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○		
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通		
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○		
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通		
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○		
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通		
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○		
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通		
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○		
			ロボット操作日数の合計 *5→		

[注記] *1：受験者本人が内容を確認して押印して下さい。

*2：1年以上の経験が受験資格になります。

*3：労働安全衛生法第59条、労働安全衛生規則第36条による。

*4：柱梁接合部形式、柱断面欄には、代表的な製作対象を○で囲んで下さい。

*5：新規については100日以上 of ロボット操作(訓練・登録者の補助)が必要です。操作期間は、産業用ロボット安全衛生特別教育修了後から申請日までで、かつ、申請日前3年に限ります。

なお、複数機種を同時に申請する場合も、機種ごとに100日以上が必要です。

なお、100日未満の場合、建築鉄骨ロボット溶接オペレータ特別教育の受講が必要です。

上記の記載内容に相違ないことを証明いたします。

会 社 名：

所 属・肩 書：

所属長の氏名：

印

新規申請書 提出前チェックシート

申請書類を提出（封筒に入れる）前に以下の項目について再度確認をお願いします。
（本シートは提出不要です。）

(1)申請書

- ☐ 表題の＜新規（基本級・専門級）・追試（学科・口述）＞の基本級・専門級・学科・口述、いずれかに○がついていますか？
- ☐ 申請日（日付）は書かれていますか？
- ☐ 受験者の押印はありますか？
- ☐ 希望する試験日のコード No.に○をつけていますか？
- ☐ 申請する種別記号の番号に○をつけていますか？
- ☐ ロボット型式認証番号の下 7 桁(PPFF072 等)を記入していますか？
- ☐ ロボットメーカ、ロボット機種、電源の種類を記載していますか？
- ☐ 現有の資格 JISZ3841 基本級・専門級の欄に記載(SA-2F 等)していますか？
- ☐ ロボット操作日数が 100 日未満の場合、日本溶接協会主催 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ特別教育の受講年月日を記載していますか？

(2)受験者の職務経歴証明書(新規、追試)

- ☐ 表題の「受験者の職務経歴証明書（新規、追試）」の新規、追試のいずれかに○が付いていますか？
- ☐ 受験者の押印はありますか？
- ☐ 期間に重複はありませんか？
- ☐ 期間は申請日前の 3 年以内ですか？
- ☐ 期間は産業用ロボット安全衛生特別教育(労働安全衛生法)の受講日以降ですか？
- ☐ 種別記号(PP-FS, SD-FN 等)は書かれていますか？
- ☐ 各行の柱梁接合部形式、柱断面それぞれに適切に○をつけていますか？
- ☐ ロボット操作日数は合計で 100 日を超えていますか？（複数の機種を受験する場合は、それぞれ 100 日以上操作経歴が必要です。）
- ☐ 最下段の証明欄に会社名・所属肩書・所属長の氏名・押印がありますか？

(3)添付書類

- ☐ 産業用ロボット安全衛生特別教育(労働安全衛生法)の修了証のコピーは添付していますか？(80W を超える駆動電動機を使用した産業用ロボットでは必須。80W 以下でもロボットメーカ発行の操作教育修了書あれば参考添付ください。)
- ☐ 半自動溶接(SA-2F,SA-3F 等)の適格性証明書のコピーは添付していますか？
- ☐ 申請する種別に該当するロボット型式認証書のコピーを添付していますか？
 - ☐ 認証書は 2025 年 12 月 16 日において有効ですか？
 - ☐ 認証書の付属書のコピーも添付していますか？
- ☐ 操作日数が 100 日未満の場合は、日本溶接協会 主催建築鉄骨ロボット溶接オペレータ特別教育の修了証のコピーを添付していますか？
- ☐ 銀行振込控えのコピーは添付されていますか？(※)
 - ※ 複数名の複数の申請をまとめて振り込んでいただいてもよいですが、その場合、控えのコピーの余白部に該当者の氏名、当該申請の金額を記入し、それぞれの申請書にそのコピーを添付ください。

以上